

シラバス

教科名	国語	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 3 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。
学年の目標	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 ・ 5	3 4	オリエンテー ション 1 あいさ つ・返事の 仕方	【知識及び技能】 ア 言葉の特徴や使い方に関する事項 ・あいさつなどの必要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと ・相手に伝わる表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・お互いが心地よく暮らせるコミュニケー ションについて考えることができる。	1 漢字・仮名テスト 2 作文 3 スピーチ 4 聞き書き 5 書写 6 音読、読解 7 話し合い など 8 あいさつ・返事の必要性を理解し、あい さつや返事の仕方を身に付ける。	【知識・技能】 1 段階：毎日の生活の中で、あいさつ、返事の必要性を知り、表現 することができる。 2 段階：相手や場面に応じて、適切なあいさつや返事を活用するこ とができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：相手に伝わるように目的や場の状況 に応じた表現力を身に付ける。 2 段階：相手の興味・関心を引きつけるような表現力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：より良い人間関係を築くために、どのようなコミュニケー ションが必要か考えることができる。 2 段階：より良い人間関係を築くために、コミュニケーションにつ いて意識を高めることができる。 評価方法：小テスト、授業参加状況、授業態度
6	3	2 地域を知 ろう	【知識及び技能】 ウ 我が国の言語文化に関する事項 ・町や学校の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 C 読むこと ・町や学校の魅力を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本校は豊かな自然とこの町の温かい人々 のおかげで存立していることを知る。	1 グループを編成し、新得町と本校に関わ るさまざまなことをタブレットなどで調べ て、模造紙にまとめる。 〈宿泊研修の事前学習に関わる〉 【社会：新得町と十勝】	【知識・技能】 1 段階：新得町の文化や情報に触れて、興味・関心をもつことがで きる。 2 段階：新得町の文化や情報に触れて、新たな事柄を知ることがで きる。 【思考・判断・表現】 1 段階：新得町の文化や情報について、感じたことや分かったこと を発表することができる。 2 段階：新得町の文化や情報について、自分の考えとその理由につ いて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：新得町の文化について、情報機器を扱い、積極的に知ろう とする態度を養う。 2 段階：新得町の文化について、必要な情報を抜き出し、集約する ことができる。 評価方法：模造紙作成、授業参加状況、授業態度
7 ・ 8	4	3 川柳	【知識及び技能】 ウ 我が国の言語文化に関する事項 ・川柳の形式を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 B 書くこと ・川柳を詠むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・クラスメイトの作品にも興味や関心をも つことができる。	1 17 音の形式を理解し、川柳を詠むことが できる。(承諾が得られた生徒の川柳は、町 教育委員会が編纂している町の文芸誌に応 募する。)	【知識・技能】 1 段階：川柳の形式を意識して、興味・関心をもつことができる。 2 段階：川柳の形式を理解して、リズムを意識しながら、音読する ことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：テーマを意識して、形式に合った川柳を詠むことができる。 2 段階：川柳を作成する材料を集め、テーマに沿った作品を詠むこ とができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：クラスメイトが発表する際に、正しい姿勢、態度で聞くこ とできる。 2 段階：クラスメイトの川柳に対して、感想を発表できる。 評価方法：川柳作成、授業参加状況、授業態度

9 ・ 10	8	4 自分の将来について考える	【知識及び技能】 ア 言葉の特徴や使い方に関する事項 ・インタビューの方法について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 A 聞くこと・話すこと B 書くこと ・インタビュー結果をまとめて、発表することができる。 ・進路見学会に参加し、作文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インタビューする相手に配慮(気配り)で きる。	1 自分の将来について考えることができる。 2 現場実習が終わった先輩にインタビューして(紙面でも可)、結果を模造紙にまとめる。 3 進路見学会に向けて、自分なりの見学ポイントを明らかにする。 4 進路見学会を経て、感想を文章にまとめる。 【職業：進路見学会】	【知識・技能】 1 段階：インタビューの相手と会話する際、相手の視線を意識することができる。 2 段階：インタビューの目的に合わせて、話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。 【思考・判断・表現】 A 聞くこと・話すこと 1 段階：インタビューの中心となる話題を一つ、二つに絞ることができる。 2 段階：インタビューしたい内容の中心を明確にすることができる。 B 書くこと 1 段階：インタビューした内容を何のために書くのかという目的を意識することができる。 2 段階：伝えたいことが明確になるように書く材料を整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：インタビューする相手に視線を向けることができる。 2 段階：インタビューする相手にていねいな言葉づかいを ことができる。 評価方法：模造紙作成、授業参加状況、授業態度
			【知識及び技能】 ウ 我が国の言語文化に関する事項 ・郵便はがきの使い方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 B 書くこと ・伝えたいことを文章で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションをもつことの喜びを知る。	1 年賀状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 2 手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさ、恐さ(禁忌)を理解する。	【知識・技能】 1 段階：文字の組み立て方を理解して、形を整えて書くことができる。 2 段階：郵便はがきや便せんに合った書式、文字の大き さで書くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に することができる。 2 段階：伝えたいことを明確にして、文章で表現するこ うができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：コミュニケーションの手段として、手紙や SNS があることを理解できる。 2 段階：コミュニケーションの取り方によって、良い面、 悪い面があることを理解できる。 評価方法：手紙作成、授業参加状況、授業態度
			【知識及び技能】 ウ 我が国の言語文化に関する事項 ・伝統的な季節の行事や遊びが存在することを 知る。 【思考力、判断力、表現力等】 C 読むこと ・和歌を朗読できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・伝統的な季節の遊びを知る。	1 短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 2 三十一音で、現代短歌を詠む。 3 しんとくふるさと歌留多でゲームを行う。	【知識・技能】 1 段階：伝統的な文化に触れる。 2 段階：短歌を声に出して読むことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：短歌を朗読することができる。 2 段階：短歌の内容を意識しながら、朗読することが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：かるたのルールを知る。 2 段階：かるたのルールを守りながら、ゲームで きる。 評価方法：授業参加状況、授業態度
			【知識及び技能】 ア 言葉の特徴や使い方に関する事項 ・自分自身を見つめ直し、自己理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 B 書くこと ・紹介したい自分を模造紙にまとめるこ うができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分を外にアピールする楽しさを知る。	1 自分に関わる事柄の中から、記事の材料やレイアウトなどを決める。 2 模造紙1枚にまとめて清書する。 3 発表する。 【職業：自分の力を知ろう】	【知識・技能】 1 段階：これまで関わってきた相手、経験値から自分自身を表現することができる。 2 段階：自己理解をしていく中で、自分を表現する言葉に対し、関心 を高めることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に することができる。 2 段階：伝えたいことを明確にして、文章で表現するこ うができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：自分をアピールするために、自分新聞を読む人 のことを考えながら、書くことができる。 2 段階：自分のことを相手に知ってもらうように、文章表現を工夫 することができる。 評価方法：新聞作成、授業参加状況、授業態度